

資料4 私立学校に対するアンケート調査

私立学校の防災・安全に関するアンケート調査

平成26年11月

「神奈川県に係る防災研究データベースの活用を起爆剤とした官学民連携
による地域防災活動活性化研究」 代表 荏本孝久（神奈川大学教授）

<本調査の趣旨について>

これまで公立学校等における防災・安全教育等の実態把握はなされてきていますが、私立学校における防災教育等の実態を把握したものは見受けられません。ここでは、昨年度から行っている文部科学省の地域防災支援プロジェクト助成研究の一環として、私立学校における防災教育等の実態を把握し、防災教育についてのニーズを把握するなどにより、支援体制構築に向けての基礎資料とするため、調査を実施いたします。

<本調査票への記入方法等について>

- ・ 選択肢がある場合は、該当する項目に○印をつけてください。
- ・ 具体的に記述を求めている質問では、具体的にご記入ください。
- ・ また、回答欄が不足する場合、枠の追加や別紙でのご回答などをお願いします。
- ・ 各問に具体的に記載していただく代わりに、既存の資料等を添付していただいても構いません。
- ・ ご記入いただきました調査票は、**12月19日（金）まで**にご返送ください。
- ・ ご多忙の折、大変恐れ入りますが、ご回答くださいますようよろしくお願い致します。

<本調査の担当事務局>

(株) 防災・情報研究所 (担当者) 高梨、深田、柴
住所：〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-10 イマス日本橋福山ビル2階
Tel：03-3249-4120 FAX：03-3249-7296 e-mail address：[idpis@idpis.co.jp](mailto: idpis@idpis.co.jp)

<学校の基本事項及び本調査票にご記入くださった方の連絡先等>

学校名					
住所	〒				
氏名			職名		
電話番号			ファクシミリ番号		
e-mailアドレス					
学校の種類	1. 小学校	3. 高等学校	5. 特別支援学校		
	2. 中学校	4. 中等教育学校	6. その他 ()		
教職員数	名	生徒または 児童数	生徒 児童	名	名

問1 貴校では、どのようなリスク（災害や大規模事故、学校安全等）を心配していますか。特に心配しているリスクにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1. 地震 | 7. 火山噴火 |
| 2. 津波 | 8. 火災 |
| 3. 台風・洪水・浸水 | 9. 防犯 |
| 4. 土砂災害（土石流、がけ崩れ、地すべり） | 10. 交通事故・事故 |
| 5. 雷雨 | 11. 不審者対応 |
| 6. 竜巻 | 12. その他（ ） |

	調査数	地震	津波	台風・洪水・浸水	土砂災害（土石流・がけ崩れ・地すべり）	雷雨	竜巻	火山噴火	火災	防犯	交通事故・事故	不審者対応	その他	無回答
全体	71	66	16	37	20	19	12	12	51	46	39	50	2	1
	100	93	22.5	52.1	28.2	26.8	16.9	16.9	71.8	64.8	54.9	70.4	2.8	1.4
小学校	17	14	5	10	4	4	3	5	12	12	10	11	-	-
	100	82.4	29.4	58.8	23.5	23.5	17.6	29.4	70.6	70.6	58.8	64.7	-	-
中学校	33	32	6	17	9	11	5	5	26	20	17	25	2	-
	100	97	18.2	51.5	27.3	33.3	15.2	15.2	78.8	60.6	51.5	75.8	6.1	-
高等学校	47	45	9	23	13	13	8	7	33	29	27	33	2	1
	100	95.7	19.1	48.9	27.7	27.7	17	14.9	70.2	61.7	57.4	70.2	4.3	2.1
中等教育学校	2	2	-	2	2	-	-	-	2	2	1	2	-	-
	100	100	-	100	100	-	-	-	100	100	50	100	-	-
特別支援学校	2	2	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-
	100	100	-	-	50	-	-	-	50	50	-	-	-	-

【その他】・登下校中の各種災害、原子力災害

問2 貴校は、次に示す災害危険のある地域内に所在していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1. 津波浸水危険 | 5. 火災延焼危険 |
| 2. 台風・洪水・浸水危険 | 6. その他の危険（具体的に ） |
| 3. 土砂災害危険 | 7. 1.～6.の危険区域内に所在していない |
| 4. 火山災害危険 | 8. どのような災害危険があるかわからない |

	調査数	津波浸水危険	台風・洪水・浸水危険	土砂災害危険	火山災害危険	火災延焼危険	その他の危険	危険区域内に所在しない	危険区域に所在しない	どのような災害危険があるかわからない	無回答
全体	71	14	12	12	7	7	1	29	2	9	
	100	19.7	16.9	16.9	9.9	9.9	1.4	40.8	2.8	12.7	
小学校	17	5	5	3	5	1	-	5	1	-	
	100	29.4	29.4	17.6	29.4	5.9	-	29.4	5.9	-	
中学校	33	4	3	6	3	5	1	16	-	4	
	100	12.1	9.1	18.2	9.1	15.2	3	48.5	-	12.1	
高等学校	47	7	6	8	3	6	1	19	1	7	
	100	14.9	12.8	17	6.4	12.8	2.1	40.4	2.1	14.9	
中等教育学校	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
	100	-	-	100	-	-	-	-	-	-	
特別支援学校	2	1	1	1	-	1	-	-	-	1	
	100	50	50	50	-	50	-	-	-	50	

【その他】・原子力災害 ・津波浸水予測は最大で膝下程度

問2 付問 貴校の近隣で、具体的な不安要素がありましたら、記入してください。

- ・痴漢、露出狂（登下校時）・海水浴シーズンの治安 ・津波、土砂災害 ・洪水
- ・台風、洪水、浸水 ・横浜港が近い ・米軍機、自衛隊機の墜落
- ・通学路の土砂災害 ・京浜工業地帯（石油工場）の爆発
- ・学校の所在地周辺の液状化 ・多摩川の決壊
- ・海が近いというだけで校舎を超える津波をおそれる意識。知らないがうえにつのる不安感。交通機関の不通。等による入学希望者減。
- ・海が近い学校なので、津波の影響がどの程度かということ。
- ・学校が丘の上にあり、民家とは離れているため、不審者の侵入には対応しづらい。
- ・特に自然災害を心配する学校立地条件ではありませんので、地震や防犯といった点に重点を置いています。
- ・危険区域にはなっていないが、山を背にしているため、がけ崩れの不安はあります。
- ・本校は海に隣接しております
- ・沿岸地域に属している。

問3 貴校の施設は、耐震性がある建物ですか（ひとつだけ○）。

1. すべての施設の耐震性が保たれている
2. 一部の施設にのみ耐震性がある
3. ほとんどの施設に耐震性がない

	調査数	たのすれ耐べて震てい性のるが施設保設	あの一るみ部の耐の震施設性がに	な設ほいにと耐ん震ど性のが施	無回答
全 体	71	63	7	-	1
	100	88.7	9.9	-	1.4
小学校	17	15	2	-	-
	100	88.2	11.8	-	-
中学校	33	31	1	-	1
	100	93.9	3	-	3
高等学校	47	41	5	-	1
	100	87.2	10.6	-	2.1
中等教育学校	2	2	-	-	-
	100	100	-	-	-
特別支援学校	2	2	-	-	-
	100	100	-	-	-

問4 本棚や什器の固定、落下物対策などは行っていますか（ひとつだけ○）。

1. すべての設備・什器・本棚等の対策をしている
2. 一部の設備・什器・本棚等に対策をしている
3. ほとんどの設備・什器・本棚等に対策を実施していない

	調査数	し器す て・べ い本て る棚の 等設 の備 対・什 策什 を	い本一 る棚部 等の設 の備 対策・ を什 器て・	実器ほ 施・と し本ん て棚ど い等の ない設 に備 対策・ を什
全 体	71	23	47	1
	100	32.4	66.2	1.4
小学校	17	7	9	1
	100	41.2	52.9	5.9
中学校	33	13	20	-
	100	39.4	60.6	-
高等学校	47	13	34	-
	100	27.7	72.3	-
中等教育学校	2	-	2	-
	100	-	100	-
特別支援学校	2	1	1	-
	100	50	50	-

問5 自家発電装置は備えていますか（ひとつだけ○）。

1. 備えている 2. 備えていない

	調査数	備 え て い る	備 え て い な い	無 回 答
全 体	71	44	26	1
	100	62	36.6	1.4
小学校	17	13	4	-
	100	76.5	23.5	-
中学校	33	21	11	1
	100	63.6	33.3	3
高等学校	47	28	18	1
	100	59.6	38.3	2.1
中等教育学校	2	1	1	-
	100	50	50	-
特別支援学校	2	1	1	-
	100	50	50	-

問6 災害時や非常時における外部との連絡手段は準備していますか。準備しているものすべてに○をつけてください。

1. 防災行政無線 3. MCA無線 5. 災害時優先電話（有線） 7. その他
2. 衛星携帯電話 4. アマチュア無線 6. 災害時優先電話（携帯電話） （ ）

	調査数	防災行政無線	衛星携帯電話	MCA無線	アマチュア無線	災害時優先電話 (有線)	災害時優先電話 (携帯電話)	その他	無回答
全体	71	15	1	6	5	47	11	6	10
	100	21.1	1.4	8.5	7	66.2	15.5	8.5	14.1
小学校	17	6	-	3	-	11	3	2	1
	100	35.3	-	17.6	-	64.7	17.6	11.8	5.9
中学校	33	7	1	2	4	24	3	2	5
	100	21.2	3	6.1	12.1	72.7	9.1	6.1	15.2
高等学校	47	9	1	3	3	30	7	2	8
	100	19.1	2.1	6.4	6.4	63.8	14.9	4.3	17
中等教育学校	2	-	-	-	-	1	-	-	1
	100	-	-	-	-	50	-	-	50
特別支援学校	2	-	-	-	-	2	-	-	-
	100	-	-	-	-	100	-	-	-

【その他】

- ・トランシーバー 一斉メール
- ・トランシーバー7台 (幼・小・中高・事務間で各校にトランシーバー1台)

問7 貴校では、防災や安全管理を担当する教職員を決めていますか。

1. 決めている (よろしければご担当者の肩書きと氏名を記載してください)

肩書き	氏名

2. 決めていない

	調査数	決めている	決めていない	無回答
全体	71	67	2	2
	100	94.4	2.8	2.8
小学校	17	15	-	2
	100	88.2	-	11.8
中学校	33	32	1	-
	100	97	3	-
高等学校	47	45	2	-
	100	95.7	4.3	-
中等教育学校	2	2	-	-
	100	100	-	-
特別支援学校	2	2	-	-
	100	100	-	-

【担当者肩書き等】

教頭 15校、副校長 1校、小学校校長 1校、事務長 2校、総務部 5校、防災委員会委員長 2校、その他安全管理部長、防火危機管理委員会、事務庶務、安全部、防火防災係、防災係、児童指導員、生活科防災・防犯担当、生徒係(安全対策担当)、生徒指導部長、社会生活指導部長、高等学部・中学部部長、防犯防災委員会(小・中・高合同)、災害対策委員会、生活環境部防災安全課等。

問8 貴校では、学校防災計画やマニュアルを作成していますか（ひとつだけ○）。

1. 作成してある → 問8付問へお進みください
 2. 作成中 → 問8付問へお進みください
 3. 今後作成する予定 → 問8付問へお進みください
 4. 今後も作成する予定がない

	調査数	作成してある	作成中	今後作成する予定	今後作成しない予定
全体	71	61	6	4	-
	100	85.9	8.5	5.6	-
小学校	17	16	1	-	-
	100	94.1	5.9	-	-
中学校	33	29	3	1	-
	100	87.9	9.1	3	-
高等学校	47	42	3	2	-
	100	89.4	6.4	4.3	-
中等教育学校	2	2	-	-	-
	100	100	-	-	-
特別支援学校	2	1	-	1	-
	100	50	-	50	-

<作成済の学校防災計画またはマニュアル名>

具体的な学校防災計画またはマニュアル名	作成年月
災害発生時における学校の基本方針	平成23年9月
小学校災害マニュアル	平成26年4月
非常時における防災組織	平成26年4月（毎年書き換え）
防災安全計画	平成26年4月
火災及び地震時の避難活動図2014	平成26年4月
「安全対策マニュアル」湘南白百合学園小学校	平成16年4月
防災	
消防計画書	
横須賀学院防災危機管理マニュアル	平成23年3月改訂
防災の手引き	平成8年9月
大規模地震対応マニュアル	平成26年9月最新版
危機管理マニュアル	平成20年4月
緊急事態対応マニュアル	平成26年4月
地震・津波防災活動マニュアル	平成23年4月
大規模地震対応マニュアル	平成26年9月
危機管理マニュアル	平成24年4月
防災計画書	平成26年5月
緊急事態対応マニュアル	平成23年4月
消防計画	平成26年10月
防災・消防計画	平成26年3月
防災組織（自衛消防隊・災害時追加組織）・非常時の対応	平成25年4月改訂

総合危機管理マニュアル	平成26年 4 月
学校災害対応マニュアル	
危機管理マニュアル	平成24年 3 月
地震・津波防災活動マニュアル	平成23年 4 月
立花学園震災等防災マニュアル	平成23年 3 月
学校安全管理マニュアル	平成20年
女子高防火管理規則	平成20年 4 月
防災管理規定	平成16年 4 月
消防計画	平成15年 5 月
危機管理マニュアル	平成26年11月改定
教員ハンドブック	平成25年 1 月 8 日改訂
防災要綱	平成26年 4 月
防災マニュアル	平成24年 3 月
地震防災マニュアル	平成24年 8 月
大規模地震対応消防計画	平成23年 3 月
防災ハンドブック	平成11年 4 月
地震防災応急マニュアル	平成26年11月
防災対応マニュアル	平成26年 7 月
防災のしおり	平成24年 4 月
安全管理対応マニュアル	平成26年 4 月更新
大地震の際の行動	平成23年 7 月
消防計画（火災・震災）	平成19年 4 月
地震防災・消防	平成10年 4 月、 平成22年 4 月更新
災害対策マニュアル	平成21年 2 月
地震・津波防災活動マニュアル	平成23年 3 月
防災綴	昭和
地震防災活動マニュアル	平成23年 6 月
防災マニュアル	平成26年 4 月
危機管理計画、危機管理対応マニュアル「災害編」	平成18年11月
藤嶺学園藤沢中・高等学校防災マニュアル	平成22年 9 月
学校災害対応マニュアル	平成25年 4 月

問 8 付問 貴校の学校防災計画やマニュアルは、どのような災害を対象としていますか。作成中または今後作成予定の学校は、予定している災害にいくつでも○をつけてください。

- | | | |
|---------------|-----------|-----------------|
| 1. 地震 | 4. 雷雨・竜巻 | 7. その他 () |
| 2. 津波 | 5. 火山噴火災害 | 8. 対象災害は決まっていない |
| 3. 台風・洪水・土砂災害 | 6. 火災延焼 | |

【その他】

- ・米軍基地放射能漏事故等
- ・光化学スモッグ
- ・不審者の侵入 2校
- ・防犯、不審者 2校
- ・防犯
- ・原子力災害

	調査数	地震	津波	土砂災害・洪水・	雷雨・竜巻	火山噴火災害	火災延焼	その他	対象災害は決 まってい ない決
全 体	71	70	15	33	10	5	44	8	1
	100	98.6	21.1	46.5	14.1	7	62	11.3	1.4
小学校	17	17	5	9	2	3	14	1	-
	100	100	29.4	52.9	11.8	17.6	82.4	5.9	-
中学校	33	32	6	15	5	1	19	5	1
	100	97	18.2	45.5	15.2	3	57.6	15.2	3
高等学校	47	47	8	24	8	2	27	4	-
	100	100	17	51.1	17	4.3	57.4	8.5	-
中等教育学校	2	2	-	2	1	-	2	-	-
	100	100	-	100	50	-	100	-	-
特別支援学校	2	2	-	-	-	-	1	-	-
	100	100	-	-	-	-	50	-	-

問9 貴校では、学校安全計画やマニュアルを作成していますか（ひとつだけ○）。

1. 作成してある
2. 作成中
3. 今後作成する予定
4. 今後も作成する予定がない

	調査数	作成してある	作成中	予今後作成する	る今後予定も作成しない	無回答
全 体	71	48	8	10	1	4
	100	67.6	11.3	14.1	1.4	5.6
小学校	17	12	1	4	-	-
	100	70.6	5.9	23.5	-	-
中学校	33	21	5	3	1	3
	100	63.6	15.2	9.1	3	9.1
高等学校	47	33	5	4	1	4
	100	70.2	10.6	8.5	2.1	8.5
中等教育学校	2	2	-	-	-	-
	100	100	-	-	-	-
特別支援学校	2	2	-	-	-	-
	100	100	-	-	-	-

<作成済の学校安全計画またはマニュアル名>

具体的な学校安全計画またはマニュアル名	作成年月
災害発生時における学校の基本方針・不審者対応	平成23年 9月
学校の安全管理マニュアル	平成26年 4月(毎年書き換え)
緊急「クラス別下校」	毎年更新(見直し)
防災安全計画	
火災及び地震時の避難活動図2014	平成26年 4月

学校安全計画・防災計画	平成26年4月再
児童の安全確保および学校の安全管理	平成16年3月
横須賀学院防災危機管理マニュアル	平成23年3月改訂
2014年度（平成26年度）年間計画	平成26年4月
学校安全計画	平成24年5月
安全管理対応マニュアル	平成16年4月
学校安全計画	平成18年4月
大震災マニュアル	平成24年7月
危機管理マニュアル	平成24年4月
地震防災応急計画	平成24年4月
安全管理対応マニュアル	平成16年4月
学校防災マニュアル	平成26年3月
非常時の対応（危機管理マニュアル）	平成25年10月改定
総合危機管理マニュアル	平成26年4月
危機管理マニュアル	平成24年3月
学校安全計画	平成18年4月
立花学園震災等防災マニュアル	平成23年3月
学校安全管理マニュアル	平成20年
危機管理体制マニュアル	平成16年4月
不審者に関する学校管理マニュアル	平成16年4月
学校安全管理マニュアル	平成15年9月
学校安全管理マニュアル	平成16年4月
安全管理マニュアル	平成14年9月
危機管理マニュアル	平成26年11月改訂
教員ハンドブック	平成25年1月8日改訂
防災要綱	平成26年4月
学校安全計画	平成26年4月
大規模自然災害が発生した場合の対処について	平成22年4月
災害防衛計画/安全で安心して学べる学校を実現するために	毎年更新
防犯ハンドブック	平成13年4月
学校安全管理マニュアル	平成26年11月
危機管理マニュアル	平成14年4月
安全管理対応マニュアル	平成26年4月更新
避難訓練（地震・火災）マニュアル	平成26年5月（毎年作成）
災害対策マニュアル	平成21年2月
防犯マニュアル	
火災・地震防災計画書	平成12年12月
学校安全管理マニュアル	平成21年4月
消防計画（この中で総合的な安全対策マニュアルを提示）	平成26年4月
藤嶺学園藤沢中・高等学校安全管理マニュアル	平成22年9月

問10（問8、問9で、学校防災計画・マニュアルや学校安全計画・マニュアルなどを作成済み、または作成中の学校へ）学校防災計画・マニュアルや学校安全計画・マニュアルなどを作成する際、どのようなものを参考にしていますか。参考としているものにもいくつか○をつけてください。

1. 文部科学省「学校防災マニュアル（地震・津波災害）作成の手引き」
2. 文部科学省「学校の危機管理マニュアル ―子どもを犯罪から守るために―」
3. 文部科学省「学校防災のための参考資料「生きる力」を育む防災教育の展開」
4. 神奈川県「学校の安全管理マニュアル作成のための手引き」
5. 神奈川県教育局「学校防災活動マニュアルの作成指針（大規模地震編、風水害編）」
6. 市町村から提示された資料・副読本等
7. 教育委員会・教育センターから提供された資料・副読本等
8. 研修会・セミナー等
9. 他校の例
10. その他（ ）
11. 参考にしたものはない

	調査数	波マ文部 災ニ部科 害ユ学省 作ル「 成（地 手震校 引き・防 き津災	機文部 管理科 理科学 マ省「 ニユ学 アル校 」の危	展力文部 開」を育 」を学 育む省 防「 災生 教育き のる	た管神 め理奈 の川 手ユ県 引き」 」学 」校 」作 」成 」の全	作防神 成災川 指活川 針動川 」マ 」教 」育 」局 」ユ 」ア 」ル 」学 」校	資市 料町 ・村 副から 読提示 本等された	料タ教 ・「育 副から 読提供 本等された	研修 会・セ ミナ ー等	他校 の例	そ の 他	参 考 に し た も の は な い	無 回 答
全 体	70 100	46 65.7	34 48.6	14 20	41 58.6	33 47.1	15 21.4	9 12.9	22 31.4	22 31.4	6 8.6	1 1.4	5 7.1
小学校	17 100	10 58.8	9 52.9	5 29.4	8 47.1	4 23.5	4 23.5	1 5.9	4 23.5	5 29.4	1 5.9	-	1 5.9
中学校	32 100	22 68.8	19 59.4	5 15.6	23 71.9	17 53.1	7 21.9	5 15.6	12 37.5	11 34.4	2 6.3	1 3.1	3 9.4
高等学校	47 100	31 66	21 44.7	9 19.1	29 61.7	26 55.3	10 21.3	6 12.8	16 34	12 25.5	5 10.6	1 2.1	3 6.4
中等教育学校	2 100	1 50	1 50	-	2 100	1 50	-	-	-	1 50	-	-	-
特別支援学校	2 100	-	2 100	-	1 50	1 50	-	-	-	-	-	-	-

【その他】

- ・本学園の他学部の物 ・東京都の防災マニュアル
- ・防災管理講習テキスト（日本防火協会）
- ・平成20年度作成では参考にしたものはないが、見直し改訂版を作成するにおいては神奈川県の資料を参考にしている。
- ・インターネットを利用して得た情報

問 11 貴校では、学校防災や学校安全について、教職員の研修を実施していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 県や市町村が行う研修等に教職員を派遣
 2. 外部で行う研修やセミナーに教職員を派遣
 3. 学校内で教職員を研修
 4. その他の研修（具体的に ）
- 問11付問へお進みください

5. まったく研修は行っていない

	調査数	員を遣う県や市町に教職	職や外部を派遣するに研修	を学校内で教職員	その他の研修	行まっていたくない研修は
全 体	71	35	30	49	3	3
	100	49.3	42.3	69	4.2	4.2
小学校	17	8	6	13	2	-
	100	47.1	35.3	76.5	11.8	-
中学校	33	18	18	23	2	1
	100	54.5	54.5	69.7	6.1	3
高等学校	47	23	19	31	2	3
	100	48.9	40.4	66	4.3	6.4
中等教育学校	2	1	2	1	-	-
	100	50	100	50	-	-
特別支援学校	2	-	-	2	-	-
	100	-	-	100	-	-

【その他】

- ・ ①今年は関東地区私立小学校教員研修会の全体講演会にて、防災研修会（教員700名以上）の参加で本校が会場校主催側 ②教員向け救助法の研修会
- ・ 研究機関に行き話を聞く
- ・ 防災訓練

問11付問（問11で1.～4.のいずれかに○をつけた学校に）具体的にはどのような研修ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 児童・生徒への防災教育
2. 避難訓練の実施方法
3. 副読本の活用方法
4. 避難所運営等
5. 応急救護
6. 着衣泳・水難救助
7. 地域との連携について
8. 災害時の心の理解・ケア
9. 学校の安全管理
10. その他

	調査数	防児童教育・生徒への	方避難訓練の実施	法副読本の活用方	避難所運営等	応急救護	助着衣泳・水難救	つ地域との連携に	解災害時の心の理	学校の安全管理	その他	無回答
全 体	68	44	41	2	9	43	7	17	6	38	5	2
	100	64.7	60.3	2.9	13.2	63.2	10.3	25	8.8	55.9	7.4	2.9
小学校	17	14	10	1	2	12	4	6	-	10	3	-
	100	82.4	58.8	5.9	11.8	70.6	23.5	35.3	-	58.8	17.6	-
中学校	32	20	17	1	2	21	2	7	5	18	1	1
	100	62.5	53.1	3.1	6.3	65.6	6.3	21.9	15.6	56.3	3.1	3.1
高等学校	44	26	25	1	5	27	1	9	6	25	2	1
	100	59.1	56.8	2.3	11.4	61.4	2.3	20.5	13.6	56.8	4.5	2.3
中等教育学校	2	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-
	100	-	50	-	-	50	-	-	-	50	-	-
特別支援学校	2	2	2	-	-	1	1	-	-	1	-	-
	100	100	100	-	-	50	50	-	-	50	-	-

【その他】

- ・ 防犯講習会 ・ 不審者対応研修 ・ 県防災教育研修講座
- ・ 非常食の充実に向けて業者との打ち合わせを多数回
- ・ 下校訓練、引き渡し訓練の研修

問12 貴校では、児童・生徒に対して防災教育や安全教育を行っていますか。あてはまるものに○をつけ、具体的な内容を書いてください。

1. 学校行事で実施（具体的に _____ ） 問12付問2にお進みください
2. 学級活動で実施（具体的に _____ ） お進みください
3. 関連教科で実施 _____ 問12付問1にお進みください
4. 総合的な学習の時間で実施 _____ 問12付問2にお進みください
5. 課外活動・特別活動で実施 _____
6. その他（ _____ ）
7. 児童・生徒に対する防災教育や安全教育は全く行っていない 問10にお進みください

	調査数	学校行事で実施	学級活動で実施	関連教科で実施	総合的な学習の時間で実施	課外活動・特別活動で実施	その他	児童・生徒に対する防災教育は行っていない
全体	71 100	61 85.9	13 18.3	15 21.1	9 12.7	18 25.4	4 5.6	- -
小学校	17 100	16 94.1	6 35.3	7 41.2	3 17.6	5 29.4	- -	- -
中学校	33 100	28 84.8	5 15.2	8 24.2	4 12.1	10 30.3	2 6.1	- -
高等学校	47 100	40 85.1	5 10.6	7 14.9	6 12.8	10 21.3	2 4.3	- -
中等教育学校	2 100	2 100	- -	1 50	1 50	2 100	1 50	- -
特別支援学校	2 100	2 100	- -	- -	- -	- -	- -	- -

【学校行事】複数回答

- ・避難訓練 33校 ・防災訓練 18校 ・防犯教室 6校 ・交通安全教室 5校
- ・下校訓練 2校 ・地区別集まり 2校 ・緊急地震速報訓練 2校
- ・薬物汚染防止教室 2校 ・引き取り訓練 1校 ・救命救急講習 1校
- ・防災ハンドブックの内容の確認 1校

【学級活動】複数回答

- ・避難訓練後に指導 2校 ・朝の会 1校 ・地域別安全指導 1校
- ・交通安全教室、小田急電鉄の方からの指導、煙小屋体験、起震車体験 1校
- ・防災規定について、緊急事態発生時について 1校

【その他】

- ・中学1年生を対象に「ジュニア防災検定」を実施
- ・地震対応マニュアルを携帯させ、その際に指導をする

問 12 付問 1 (問 12 で 3. と答えた学校に) SQ1 どの教科で行っていますか。あてはまるもの
すべてに○をつけ、SQ2 実施している学年に○をつけてください。

	SQ1 実施科目 (すべてに○)	SQ2 実施している学年 (すべてに○)
1. 理科(地学、理科総合等を含む)	1	1年 2年 3年 4年 5年 6年
2. 生活科	2	1年 2年 3年 4年 5年 6年
3. 保健体育	3	1年 2年 3年 4年 5年 6年
4. 社会科(地歴、公民等を含む)	4	1年 2年 3年 4年 5年 6年
5. 技術・家庭科	5	1年 2年 3年 4年 5年 6年
6. 道徳	6	1年 2年 3年 4年 5年 6年
7. その他()	7	1年 2年 3年 4年 5年 6年

	調査数	理科総合(地学・理 学)	生活科	保健 体育	社会科(地歴・ 公民等を含む)	技術・家庭 科	道徳	そ の 他
全 体	15 100	3 20	3 20	10 66.7	5 33.3	4 26.7	3 20	1 6.7
小学校	7 100	1 14.3	3 42.9	4 57.1	4 57.1	2 28.6	2 28.6	1 14.3
中学校	8 100	2 25	-	7 87.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	-
高等学校	7 100	2 28.6	-	5 71.4	1 14.3	2 28.6	1 14.3	-
中等教育学校	1 100	-	-	1 100	-	-	-	-
特別支援学校	-	-	-	-	-	-	-	-

【その他】・総合 1校

<理科>

	調査数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
全 体	3	2	1	1	1	1	1
	100	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3
小学校	1	-	-	-	-	1	1
	100	-	-	-	-	100	100
中学校	2	2	1	1	1	-	-
	100	100	50	50	50	-	-
高等学校	2	2	1	1	1	-	-
	100	100	50	50	50	-	-
中等教育学校	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
特別支援学校	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-

<生活科>

	調査数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
全 体	3	3	1	-	-	-	-
	100	100	33.3	-	-	-	-
小学校	3	3	1	-	-	-	-
	100	100	33.3	-	-	-	-
中学校	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
高等学校	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
中等教育学校	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
特別支援学校	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-

<保健体育>

	調査数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	無回答
全 体	10	4	2	7	4	3	2	1
	100	40	20	70	40	30	20	10
小学校	4	1	-	2	1	1	1	1
	100	25	-	50	25	25	25	25
中学校	7	3	2	5	3	2	1	1
	100	42.9	28.6	71.4	42.9	28.6	14.3	14.3
高等学校	5	2	2	4	3	2	1	1
	100	40	40	80	60	40	20	20
中等教育学校	1	-	-	-	-	-	-	1
	100	-	-	-	-	-	-	100
特別支援学校	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-

<社会科>

	調査数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
全 体	5	1	-	-	4	1	-
	100	20	-	-	80	20	-
小学校	4	-	-	-	4	-	-
	100	-	-	-	100	-	-
中学校	1	1	-	-	-	1	-
	100	100	-	-	-	100	-
高等学校	1	1	-	-	-	1	-
	100	100	-	-	-	100	-
中等教育学校	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
特別支援学校	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-

<技術・家庭科>

	調査数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
全 体	4	1	-	1	1	1	2
	100	25	-	25	25	25	50
小学校	2	-	-	-	-	1	2
	100	-	-	-	-	50	100
中学校	1	-	-	1	1	-	-
	100	-	-	100	100	-	-
高等学校	2	1	-	1	1	-	-
	100	50	-	50	50	-	-
中等教育学校	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
特別支援学校	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-

<道徳>

	調査数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
全 体	3	3	3	2	2	2	2
	100	100	100	66.7	66.7	66.7	66.7
小学校	2	2	2	2	2	2	2
	100	100	100	100	100	100	100
中学校	1	1	1	-	-	-	-
	100	100	100	-	-	-	-
高等学校	1	1	1	-	-	-	-
	100	100	100	-	-	-	-
中等教育学校	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
特別支援学校	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-

<その他>

	調査数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
全体	1	1	1	1	1	1	1
	100	100	100	100	100	100	100
小学校	1	1	1	1	1	1	1
	100	100	100	100	100	100	100
中学校	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
高等学校	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
中等教育学校	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
特別支援学校	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-

問12付問2（問12で1.～6.に答えた学校に）どのようなリスクについて児童・生徒に教育していますか。次のうちあてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1. 地震 | 7. 火山噴火 |
| 2. 津波 | 8. 火災 |
| 3. 台風・洪水・浸水 | 9. 防犯 |
| 4. 土砂災害（土石流、がけ崩れ、地すべり） | 10. 交通事故・事故 |
| 5. 雷雨 | 11. 不審者対応 |
| 6. 竜巻 | 12. その他（ ） |

	調査数	地震	津波	水台風・洪水・浸	地流土砂災害（土すべり）	雷雨	竜巻	火山噴火	火災	防犯	交通事故・事故	不審者対応	その他	無回答
全体	71	64	14	19	2	5	2	2	59	29	34	23	1	3
	100	90.1	19.7	26.8	2.8	7	2.8	2.8	83.1	40.8	47.9	32.4	1.4	4.2
小学校	17	15	6	8	1	2	2	2	16	10	13	10	-	1
	100	88.2	35.3	47.1	5.9	11.8	11.8	11.8	94.1	58.8	76.5	58.8	-	5.9
中学校	33	31	7	8	2	3	1	1	27	11	13	13	1	-
	100	93.9	21.2	24.2	6.1	9.1	3	3	81.8	33.3	39.4	39.4	3	-
高等学校	47	44	8	12	2	4	1	1	39	18	20	13	-	1
	100	93.6	17	25.5	4.3	8.5	2.1	2.1	83	38.3	42.6	27.7	-	2.1
中等教育学校	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	1
	100	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	-	50
特別支援学校	2	2	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
	100	100	-	-	-	-	-	-	50	50	-	-	-	-

問12付問3（問12で「4.総合的な学習」または「5.課外活動・特別活動」で行っていると答えられた学校に）その時間には、どのような内容や方法で行っていますか。次のうちあてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 地域の自然環境や災害の学習 | 9. 地震体験車（起震車）体験 |
| 2. 副読本を使った指導 | 10. スモークハウス体験 |
| 3. 視聴覚教材を使った指導 | 11. 避難所宿泊体験 |
| 4. 模型教材を使った指導 | 12. 応急処置の技能 |
| 5. 消防等の学外講師による指導 | 13. ボランティア活動について |

6. まち歩き
 7. 野外観察・野外活動
 8. 防災マップづくり
 14. 災害時の心の理解・ケア
 15. 交通安全指導
 16. その他()

調査数	地域の自然環境や災害の学習	副読本を使った指導	視聴覚教材を使った指導	模型教材を使った指導	消防等の学外講師による指導	まち歩き	野外観察・野外活動	防災マップづくり	地震体験車(起震車)体験	スマートフォンハウス体験	避難所宿泊体験	応急処置の技能	ボランティア活動	災害時の心の理解・ケア	交通安全指導	その他	
全体	23 100	2 8.7	2 8.7	9 39.1	-	15 65.2	1 4.3	-	1 4.3	8 34.8	5 21.7	1 4.3	12 52.2	3 13	-	12 52.2	2 8.7
小学校	7 100	-	1 14.3	4 57.1	-	6 85.7	1 14.3	-	-	3 42.9	2 28.6	1 14.3	4 57.1	-	-	5 71.4	1 14.3
中学校	11 100	2 18.2	1 9.1	4 36.4	-	7 63.6	-	-	-	3 27.3	2 18.2	-	6 54.5	2 18.2	-	6 54.5	1 9.1
高等学校	13 100	2 15.4	1 7.7	5 38.5	-	7 53.8	-	-	1 7.7	3 23.1	2 15.4	-	7 53.8	1 7.7	-	8 61.5	1 7.7
中等教育学校	2 100	-	-	1 50	-	2 100	-	-	-	-	-	-	1 50	-	-	1 50	-
特別支援学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【その他】

- ・引き渡し訓練 ・AED講習 ・講師による講演

問12付問4 上記の問12付問3の学習にあてる合計時間数を記入してください。

合計時間数(校時) 時間

	調査数	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間未満	7時間以上	10時間以上	無回答
全体	23 100	4 17.4	4 17.4	1 4.3	2 8.7	2 8.7	2 8.7	-	3 13	5 21.7	
小学校	7 100	1 14.3	-	1 14.3	-	-	2 28.6	-	3 42.9	-	
中学校	11 100	2 18.2	3 27.3	-	2 18.2	1 9.1	-	-	1 9.1	2 18.2	
高等学校	13 100	2 15.4	3 23.1	-	2 15.4	2 15.4	-	-	1 7.7	3 23.1	
中等教育学校	2 100	-	-	-	-	-	-	-	1 50	1 50	
特別支援学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

	調査数	平均	最小値	最大値
全 体	18	6.44	1	32
	100			
小学校	7	12.29	1	32
	38.9			
中学校	9	4.17	1	16
	50			
高等学校	10	4.25	1	16
	55.6			
中等教育学校	1	16	16	16
	5.6			
特別支援学校	-	-	-	-
	-	-	-	-

問12付問5 児童・生徒に対する防災教育や安全教育で、副読本や参考資料等を使った指導は
 していますか。また、どのような副読本や資料を使っていますか。(いくつでも○)

1. 副読本を使っている (書名・出版社等：)
2. 参考資料や教材を使っている (具体的に)
3. 適当な副読本や資料がなく、使っていない
4. 副読本や資料等は必要でなく、まったく使っていない

【副読本の書名・出版社等】

- ・「じぶんをまもろう みんなをまもろう」(学研)
- 「ふじさわ」藤沢市教育委員会 3・4年社会科資料集
- 片田教授著の本15冊をクラス・図書館に設置、東日本大震災(朝日新聞社)
- ・本校にて独自に作成したもの

【参考資料・教材】

- ・自校オリジナル ・かながわシェイクアウト訓練用資料 ・自作プリント
- ・「学校事故対策マニュアル」QA、片田教授著のDVD釜石の奇跡、他
- 幼児・小学生に対する交通安全教育指導のポイントマニュアル
- ・外部講師による視聴覚教材 ・生徒手帳に記載した内容を読み合わせしている。
- ・写真等視覚教材・資料等 ・自転車の安全な乗り方のDVD
- ・パンフレット等、学園のしおり(防災について)
- ・津波予測地図など自作の物 ・配布される冊子やチラシを利用

	調査数	副読本を使っている	参考資料や教材を使っている	適当な副読本や資料がなく使っていない	副読本や資料等は必要でないまま使っていない	無回答
全 体	71	2	11	27	15	17
	100	2.8	15.5	38	21.1	23.9
小学校	17	1	2	8	5	2
	100	5.9	11.8	47.1	29.4	11.8
中学校	33	1	3	12	8	9
	100	3	9.1	36.4	24.2	27.3
高等学校	47	1	8	18	9	11
	100	2.1	17	38.3	19.1	23.4
中等教育学校	2	-	-	1	-	1
	100	-	-	50	-	50
特別支援学校	2	-	1	-	-	1
	100	-	50	-	-	50

問13 次に、防災や学校安全に関連する訓練や図上演習等の実施状況についてお聞きします。次の中で、問13-1 すでに行っているもの、問13-2 今後実施したいと思うものにそれぞれ○をつけてください（いくつでも○）。

	問13-1 すでに実施	問13-2 今後実施
1. 避難（誘導）訓練	1	1
2. 初期消火訓練	2	2
3. 情報伝達訓練	3	3
4. 保護者への引渡し訓練	4	4
5. 消防署や地域等と連携した訓練	5	5
6. 地震についての講話	6	6
7. 地震体験車（起震車）体験	7	7
8. スモークハウス体験	8	8
9. 避難所支援活動	9	9
10. 応急処置の技能	10	10
11. 図上訓練（DIG、HUGなど）	11	11
12. 被災地や他校との防災を通じた交流	12	12
13. 交通安全指導	13	13
14. その他（ ）	14	14

<すでに実施>

	調査数	避難（誘導）訓練	初期消火訓練	情報伝達訓練	保護者への引渡し訓練	消防署や地域等と連携した訓練	地震についての講話	地震体験車（起震車）体験	スモークハウス体験	避難所支援活動	応急処置の技能	図上訓練（DIG・HUGなど）	被災地や他校との防災を通じた交流	交通安全指導	その他
全体	71	71	43	31	21	33	34	21	13	8	37	-	16	45	2
	100	100	60.6	43.7	29.6	46.5	47.9	29.6	18.3	11.3	52.1	-	22.5	63.4	2.8
小学校	17	17	11	7	14	11	4	8	4	3	7	-	3	14	-
	100	100	64.7	41.2	82.4	64.7	23.5	47.1	23.5	17.6	41.2	-	17.6	82.4	-
中学校	33	33	21	17	8	16	17	10	6	3	19	-	8	20	1
	100	100	63.6	51.5	24.2	48.5	51.5	30.3	18.2	9.1	57.6	-	24.2	60.6	3
高等学校	47	47	29	22	10	19	25	10	7	4	26	-	12	30	1
	100	100	61.7	46.8	21.3	40.4	53.2	21.3	14.9	8.5	55.3	-	25.5	63.8	2.1
中等教育学校	2	2	1	-	1	1	1	-	-	-	1	-	1	1	-
	100	100	50	-	50	50	50	-	-	-	50	-	50	50	-
特別支援学校	2	2	2	2	-	1	1	1	1	-	1	-	-	1	-
	100	100	100	100	-	50	50	50	50	-	50	-	-	50	-

<すでに実施及び今後実施する訓練や図上演習等>

	調査数	避難（誘導）訓練	初期消火訓練	情報伝達訓練	保護者への引渡し訓練	消防署や地域等と連携した訓練	地震についての講話	地震体験車（起震車）体験	スモークハウス体験	避難所支援活動	応急処置の技能	図上訓練（DIG・HUGなど）	被災地や他校との防災を通じた交流	交通安全指導	その他
全体	71	71	53	41	29	45	40	36	26	16	47	10	26	51	4
	100	100	74.6	57.7	40.8	63.4	56.3	50.7	36.6	22.5	66.2	14.1	36.6	71.8	5.6
小学校	17	17	13	9	14	12	8	10	8	5	9	4	6	16	1
	100	100	76.5	52.9	82.4	70.6	47.1	58.8	47.1	29.4	52.9	23.5	35.3	94.1	5.9
中学校	33	33	24	19	12	21	19	14	10	7	22	3	12	21	1
	100	100	72.7	57.6	36.4	63.6	57.6	42.4	30.3	21.2	66.7	9.1	36.4	63.6	3
高等学校	47	47	37	29	17	29	28	22	16	11	34	7	19	33	2
	100	100	78.7	61.7	36.2	61.7	59.6	46.8	34	23.4	72.3	14.9	40.4	70.2	4.3
中等教育学校	2	2	1	-	1	1	1	-	-	-	1	-	1	1	-
	100	100	50	-	50	50	50	-	-	-	50	-	50	50	-
特別支援学校	2	2	2	2	1	1	1	1	1	-	1	-	-	1	-
	100	100	100	100	50	50	50	50	50	-	50	-	-	50	-

【すでに実施：その他】

- ・ AED講習（生徒及び教職員対象） ・ 教職員対象AED講習

【今後実施：その他】

- ・ 不審者対応訓練 ・ AED講習（生徒及び教職員対象）

問13付問（問13-1で1.に○をつけた学校に）何を想定した避難訓練を行っていますか。次のうちあてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 地震
- 2. 津波
- 3. 洪水等水害
- 4. 土砂災害
- 5. 火山噴火災害
- 6. 火災
- 7. 不審者侵入
- 8. その他の危険

	調査数	地震	津波	洪水等水害	土砂災害	火山噴火災害	火災	不審者侵入	その他の危険
全体	71	68	12	5	1	-	68	6	1
	100	95.8	16.9	7	1.4	-	95.8	8.5	1.4
小学校	17	16	5	1	-	-	17	4	-
	100	94.1	29.4	5.9	-	-	100	23.5	-
中学校	33	32	5	2	-	-	30	3	-
	100	97	15.2	6.1	-	-	90.9	9.1	-
高等学校	47	45	6	3	-	-	44	4	1
	100	95.7	12.8	6.4	-	-	93.6	8.5	2.1
中等教育学校	2	2	-	-	1	-	2	-	-
	100	100	-	-	50	-	100	-	-
特別支援学校	2	2	-	-	-	-	2	-	-
	100	100	-	-	-	-	100	-	-

【その他】・自然災害（台風など）

問14 児童・生徒への防災・安全教育を行う上で、どのようなことが課題だと思われますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 何をやらたいのかわからない
- 2. 適切な教材がない
- 3. 学校でやるべきことなのかわからない
- 4. 防災や安全教育の危機感が薄い
- 5. マニュアルや指導要領がない
- 6. 指導方法がよくわからない
- 7. 保護者や地域から協力を得るのが難しい
- 8. 防災に対する切迫感が薄い
- 8. 外部の協力者がいない
- 9. 指導する時間が取れない
- 10. 防災より防犯の方が優先されがちだ
- 11. 指導できる人材がいない
- 12. 教職員の研修がない・少ない
- 13. 教職員間の共通理解ができていない
- 14. その他（ ）
- 15. 特に課題はない

	調査数	何をやらたいのかわからない	適切な教材がない	学校でやるべきことなのかわからない	防災や安全教育の危機感が薄い	マニュアルや指導要領がない	指導方法がよくわからない	保護者や地域から協力を得るのが難しい	防災に対する切迫感が薄い	外部の協力者がいない	指導する時間が取れない	防災より防犯の方が優先されがちだ	指導できる人材がいない	教職員の研修がない・少ない	教職員間の共通理解ができていない	その他	特に課題はない	無回答
全体	71	2	5	1	25	1	6	2	35	1	21	2	7	13	5	3	11	4
	100	2.8	7	1.4	35.2	1.4	8.5	2.8	49.3	1.4	29.6	2.8	9.9	18.3	7	4.2	15.5	5.6
小学校	17	1	1	-	4	-	1	2	6	-	5	1	1	4	2	1	1	2
	100	5.9	5.9	-	23.5	-	5.9	11.8	35.3	-	29.4	5.9	5.9	23.5	11.8	5.9	5.9	11.8
中学校	33	1	3	-	13	1	1	-	18	-	11	1	3	3	1	2	4	3
	100	3	9.1	-	39.4	3	3	-	54.5	-	33.3	3	9.1	9.1	3	6.1	12.1	9.1
高等学校	47	1	2	1	19	1	4	-	25	1	12	1	5	9	3	2	7	3
	100	2.1	4.3	2.1	40.4	2.1	8.5	-	53.2	2.1	25.5	2.1	10.6	19.1	6.4	4.3	14.9	6.4
中等教育学校	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1
	100	-	-	-	-	-	50	-	-	-	50	-	50	-	-	-	-	50
特別支援学校	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50	50

【その他】

- ・防災には限界がある。 ・発達段階に応じた防災教育のカリキュラム化
- ・登下校中の危機管理

問15 貴校では、学校防災や学校安全についての教職員の研修を今後どのようにしたいと思いま
すか（ひとつだけ○）。

1. 今後、教職員の研修を積極的に行いたい
2. 今後、教職員の研修をある程度行いたい
3. あまり教職員の研修は行えない
4. ほとんど教職員の研修は行えない

	調 査 数	い 修 今 た を 後 い 積 極 的 員 に の 行 研	い 修 今 た を 後 い あ 教 程 員 の 行 研	研 あ 修 ま は り 行 教 え 職 員 の	い の ほ 研 と 修 ん は ど 行 教 え 職 員
全 体		22	46	3	-
	100	31	64.8	4.2	-
小学校	17	4	12	1	-
	100	23.5	70.6	5.9	-
中学校	33	10	23	-	-
	100	30.3	69.7	-	-
高等学校	47	15	30	2	-
	100	31.9	63.8	4.3	-
中等教育学校	2	1	1	-	-
	100	50	50	-	-
特別支援学校	2	2	-	-	-
	100	100	-	-	-

問16 教職員研修では、どのような災害等を想定した防災・安全教育研修が必要だと思いますか。
次のうちあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 地震
2. 津波
3. 洪水
4. 土砂災害
5. 雷雨
6. 竜巻
7. 火山噴火
8. 火災
9. 防犯
10. 交通事故・事故
12. 不審者対応
13. その他
14. 対象とする災害等はわからない
15. 必要ない

	調 査 数	地 震	津 波	洪 水	土 砂 災 害	雷 雨	竜 巻	火 山 噴 火	火 災	防 犯	交 通 事 故 ・ 事 故	不 審 者 対 応	そ の 他	対 象 と す ら な い 災 害	必 要 な い	無 回 答
全 体	71	62	16	7	6	11	6	10	52	33	26	48	2	-	-	1
	100	87.3	22.5	9.9	8.5	15.5	8.5	14.1	73.2	46.5	36.6	67.6	2.8	-	-	1.4
小学校	17	13	5	2	3	3	2	5	9	5	4	11	-	-	-	-
	100	76.5	29.4	11.8	17.6	17.6	11.8	29.4	52.9	29.4	23.5	64.7	-	-	-	-
中学校	33	31	6	1	1	3	2	5	26	13	13	22	2	-	-	-
	100	93.9	18.2	3	3	9.1	6.1	15.2	78.8	39.4	39.4	66.7	6.1	-	-	-
高等学校	47	43	9	4	2	7	3	5	38	23	21	32	2	-	-	-
	100	91.5	19.1	8.5	4.3	14.9	6.4	10.6	80.9	48.9	44.7	68.1	4.3	-	-	-
中等教育学校	2	2	-	-	1	-	1	1	2	-	1	2	-	-	-	-
	100	100	-	-	50	-	50	50	100	-	50	100	-	-	-	-
特別支援学校	2	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	1
	100	50	-	-	-	-	-	-	50	50	-	50	-	-	-	50

【その他】 ・登下校中の災害遭遇 ・原子力災害

問17 貴校では、教職員の研修や児童・生徒の防災・安全教育、訓練等を実施する際、外部からの専門家やアドバイザー、地域の方々、語り部などに依頼していますか。選択肢にひとつだけ○をつけてください。

1. 依頼している 問17付問へお進みください
 2. 今は依頼していないが、今後依頼したい
 3. 依頼していない

	調査数	依頼している	いい今は が今 今後 依頼 したい な	依頼 して いな い	無 回 答
全 体	71	52	4	13	2
	100	73.2	5.6	18.3	2.8
小学校	17	13	-	4	-
	100	76.5	-	23.5	-
中学校	33	23	1	7	2
	100	69.7	3	21.2	6.1
高等学校	47	33	3	9	2
	100	70.2	6.4	19.1	4.3
中等教育学校	2	1	1	-	-
	100	50	50	-	-
特別支援学校	2	2	-	-	-
	100	100	-	-	-

問17付問 どのような方に依頼、または依頼したいですか。依頼している（依頼したい）機関や個人等にいくつでも○をつけて、具体的に個人名や機関名などを記入してください。

1. 神奈川県職員 4. 警察署員 7. ボランティア団体
 2. 市町村職員 5. 日本赤十字社職員 8. その他の専門家・アドバイザー等
 3. 消防署員 6. 地域の住民（自治会等） ()

	調査数	神奈川 県職 員	市 町 村 職 員	消 防 署 員	警 察 署 員	職 員 日 本 赤 十 字 社	(地 域 の 住 民 自 治 会 等)	団 体 ボ ラ ン テ ィ ア	ザ 家 そ の 他 の 専 門 イ ン テ リ ビ ン グ	無 回 答
全 体	56	7	7	43	32	7	4	5	20	1
	100	12.5	12.5	76.8	57.1	12.5	7.1	8.9	35.7	1.8
小学校	13	3	2	8	8	3	1	1	6	1
	100	23.1	15.4	61.5	61.5	23.1	7.7	7.7	46.2	7.7
中学校	24	2	2	22	14	1	1	2	7	-
	100	8.3	8.3	91.7	58.3	4.2	4.2	8.3	29.2	-
高等学校	36	3	5	29	21	3	3	2	11	-
	100	8.3	13.9	80.6	58.3	8.3	8.3	5.6	30.6	-
中等教育学校	2	-	-	2	1	-	-	-	-	-
	100	-	-	100	50	-	-	-	-	-
特別支援学校	2	-	-	1	-	-	-	-	1	-
	100	-	-	50	-	-	-	-	50	-

【その他】

- ・ ALSOK、神奈川県ライフセービング連盟 ・横浜中央YMCA ・CAPかながわ
- ・SECOM (AED取扱業者による取り扱い講習) 2校 ・ジュニア防災検定協会
- ・磯子警察

【具体的な肩書き・氏名】

- ・元釜石市の教育長（3.11時）川崎 一弘氏（2013年11月）
- ・群馬大学・防災センター長 片田 敏孝氏（2014年11月）
- ・藤沢市危機管理室の方を招いての研修会（2013年7月）
- ・鶴沼郷土資料館 内藤 喜嗣氏（2013年7月）。以上、S学園小学校での取り組み

問18 もし、防災・安全教育アドバイザーを紹介する仕組みや制度があれば、貴校では活用する可能性ありますか（ひとつだけ○）。

1. すでに活用している（具体的に)
2. 今後活用したい
3. 活用する必要がない

	調査数	すでに活用して	今後活用したい	活用する必要が	無回答
全 体	71	2	58	10	1
	100	2.8	81.7	14.1	1.4
小学校	17	1	12	3	1
	100	5.9	70.6	17.6	5.9
中学校	33	2	26	5	-
	100	6.1	78.8	15.2	-
高等学校	47	2	39	6	-
	100	4.3	83	12.8	-
中等教育学校	2	1	1	-	-
	100	50	50	-	-
特別支援学校	2	-	2	-	-
	100	-	100	-	-

【活用内容】

- ・自転車通学者に対する神奈川県警職員による交通安全指導
- ・CAPかながわ

問19 貴校では、災害が発生した時または発生する恐れがある時に、避難してきた地域の方々を受け入れる避難所になっていますか（ひとつだけ○）。

1. 市町村の指定避難所になっている
2. 地域の住民の避難所として地域と協定を結んでいる
3. 協定などはないが災害時には避難してきた地域の方々などを受け入れることにしている
4. 避難所として、地域の人々等を受け入れることはまったくない
5. その他 ()

	調査数	に市町つての指定避難所	結と地域でいる地域の住民との協定を	いけ協入定れなるとはにいが受	こ人避ことは等所をまつたけく入れの	その他	無回答
全 体	71 100	21 29.6	7 9.9	31 43.7	3 4.2	8 11.3	1 1.4
小学校	17 100	8 47.1	2 11.8	6 35.3	- -	1 5.9	- -
中学校	33 100	12 36.4	3 9.1	14 42.4	- -	3 9.1	1 3
高等学校	47 100	13 27.7	4 8.5	22 46.8	2 4.3	5 10.6	1 2.1
中等教育学校	2 100	1 50	- -	- -	- -	1 50	- -
特別支援学校	2 100	- -	1 50	- -	1 50	- -	- -

【その他】

- ・一時避難場所として地域と協定を結んでいる。
- ・指定避難所になっていたが、外れた。 ・避難所になっていない。
- ・横浜市都筑区と帰宅困難者の受入を協定として結んでいる 2校
- ・他校との連携で避難校ネットに加入。他校生を受け入れることにしている。
- ・協定などはないが、災害時に避難してきた地域の方などを受け入れざるを得ないだろう。
- ・一時的避難所として一部施設を提供 ・項目3. に向けて検討中である。
- ・市の一時避難場所として提携

問20 (問19で1. ~ 3. に答えた学校に) 災害時の避難所運営に関して、次のようなことを決めたり行っていますか。決まっているものや行っているものにいくつでも○をつけてください。

1. 職員がいない時、地域の人などが代わりに鍵を開けることになっている
2. 避難所にする部屋(体育館、教室等)をある程度決めている
3. 避難所を運営するための職員の役割分担を決めてある
4. 避難所運営マニュアルがある
5. 地域の人と避難所運営方法を協議している
6. 避難所運営訓練を行っている
7. その他 ()

	調査数	鍵の職 を人な 開が けるい が 代 わ り 地 域 に	るを(避 を(避 あ(難 る(所 程館に 度・する 決教 め室部 て等屋 い)	をめ避 を決の め職所 て員を あるの運 る役營 担分す た	ル避 が難 ある所 運 営 マ ニ ュ ア	る営地 方域 法の人 をと 協 議 し 難 し 所 運	行避 つ難 て所 い運 營 訓 練 を	そ の 他	無 回 答
全 体	67	8	41	16	9	14	9	-	20
	100	11.9	61.2	23.9	13.4	20.9	13.4	-	29.9
小学校	17	3	10	3	3	5	2	-	6
	100	17.6	58.8	17.6	17.6	29.4	11.8	-	35.3
中学校	32	4	21	6	4	7	6	-	9
	100	12.5	65.6	18.8	12.5	21.9	18.8	-	28.1
高等学校	44	4	28	11	6	9	6	-	10
	100	9.1	63.6	25	13.6	20.5	13.6	-	22.7
中等教育学校	2	-	-	-	1	-	-	-	1
	100	-	-	-	50	-	-	-	50
特別支援学校	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	100	-	100	-	-	-	-	-	-

【その他】

- ・学園全体で検討中 ・具体的には決まっていないが受け入れる気持ちはある。
- ・まだ具体的に検討していない ・まだ何も協議していない ・特に何もしていない
- ・平成27年1月に訓練予定

問21 万一、児童・生徒が在校時に災害が発生して交通手段が途絶えた時、児童・生徒の取扱いはどのようになりますか。あてはまるものはいくつでも○をつけてください。

1. 教師や職員が付き添って帰宅させる
2. 保護者へ引き渡すまで学校に留め置く
3. 学校外の避難先に避難し、そこで留め置く
4. その他 ()

	調査数	添教師 つてや 帰職 宅員 さが せ付 るき	くま保 で護 者 学 校 へ 引 留 き め 置 す	置避学 く難校 し外 その こ避 で難 留先 めに	そ の 他
全 体	71	12	64	5	8
	100	16.9	90.1	7	11.3
小学校	17	2	16	3	2
	100	11.8	94.1	17.6	11.8
中学校	33	5	30	2	2
	100	15.2	90.9	6.1	6.1
高等学校	47	9	43	2	3
	100	19.1	91.5	4.3	6.4
中等教育学校	2	-	2	-	1
	100	-	100	-	50
特別支援学校	2	-	2	-	-
	100	-	100	-	-

【その他】

- ・緊急時待避所を保護者に依頼
- ・同敷地内に児童の寮があるため外に出での通学がなく、この点での不安は今のところない。
- ・交通が回復するまで学校に留め置く。
- ・そのまま校内に留め置き、状況を見て帰宅指示を出す。

- ・安全が確認されるまで校内に留め置く
- ・帰宅できるまで留め置く。
- ・1人もしくはグループで帰宅できる生徒は帰宅。保護者が迎えに来る生徒は引き渡すまで学校に留め置く。無理な場合は学校に泊まる。
- ・事前に保護者から届け出が出された場所で留め置く。
- ・原則、項目2. だが、場合によっては項目1. や3. 。

問22 平日の正午に災害が発生したとして、児童・生徒の帰宅が完了するまで、どれくらいの時間がかかるとお考えですか。ひとつだけ○をつけてください。

- | | | |
|--------------|---------|----------|
| 1. 1時間程度 | 4. 1日 | 7. 1週間程度 |
| 2. 2～3時間 | 5. 2～3日 | 8. 1週間以上 |
| 3. 5～6時間（半日） | 6. 4～5日 | |

	調査数	1時間程度	2～3時間	(5半～6日)時間	1日	2～3日	4～5日	1週間程度	1週間以上	無回答
全 体	71	1	7	8	30	17	-	2	-	6
	100	1.4	9.9	11.3	42.3	23.9	-	2.8	-	8.5
小学校	17	1	1	1	10	3	-	1	-	-
	100	5.9	5.9	5.9	58.8	17.6	-	5.9	-	-
中学校	33	-	2	4	12	10	-	1	-	4
	100	-	6.1	12.1	36.4	30.3	-	3	-	12.1
高等学校	47	-	3	7	17	14	-	1	-	5
	100	-	6.4	14.9	36.2	29.8	-	2.1	-	10.6
中等教育学校	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-
	100	-	50	-	-	50	-	-	-	-
特別支援学校	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-
	100	-	-	-	100	-	-	-	-	-

問23 貴校では、地域や他校と連携した防災・危機管理訓練や、講話、災害時のボランティア活動などを行っていますか。該当するところにいくつでも○をつけてください。

1. 地域に施設を開放し、講演会や防災・危機管理のイベントなどを行っている
2. 地域と連携した防災訓練等を行っている
3. 災害が発生した時、教職員が募金活動を行っている
4. 災害が発生した時、生徒・児童、保護者等を含め募金活動を行っている
5. 災害で被災した地域の支援のためボランティア活動を行っている
6. ふだんから防災・安全教育等のため、地域の人々と交流している
7. 防災・安全教育等のため、ボランティア団体等と交流している
8. 防災・安全教育等のため、他校と交流している
9. その他 ()

	調査数	地域の施設を開放し、イベントなど	地域と連携した防災訓練等	災害発生時教職員が募	児童・保護者等を含め募	災害発生時生徒・児童・保護者等を含め募	支援のためボランティア	災害で被災した地域の	人と交流している地域の	ふだんから防災・安全のため	防災・安全教育等のため	防災・安全教育等のため	その他	無回答
全体	71	4	14	12	36	20	9	5	5	9	11			
	100	5.6	19.7	16.9	50.7	28.2	12.7	7	7	12.7	15.5			
小学校	17	2	4	2	7	4	3	1	3	3	3			
	100	11.8	23.5	11.8	41.2	23.5	17.6	5.9	17.6	17.6	17.6			
中学校	33	1	7	4	19	12	3	3	1	3	5			
	100	3	21.2	12.1	57.6	36.4	9.1	9.1	3	9.1	15.2			
高等学校	47	1	8	7	26	15	5	3	2	4	7			
	100	2.1	17	14.9	55.3	31.9	10.6	6.4	4.3	8.5	14.9			
中等教育学校	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1			
	100	-	-	-	50	-	-	-	-	-	50			
特別支援学校	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1			
	100	-	50	-	-	-	-	-	-	-	50			

【その他】

- ・企業等の社会貢献活動にお世話になっている。
- ・保護者有志で復興支援活動を定期的を実施
- ・県私学で作る避難ネットワークに対応している。
- ・県私学避難ネットワークに加盟し、災害時他私学生徒の避難場所として受け入れる
- ・私学の防災ネットワークに加盟している。
- ・修学旅行で被災地を訪れる。
- ・系列校間で情報交換している。
- ・避難校ネット
- ・避難校ネットワークの設置

問24 地域の防災活動に関して、地域やボランティア団体等との定期的な会合やイベントなどは行っていますか。行っている場合、よろしければ該当する団体名をご記入ください。

1. 行っている (団体名:)
2. 行っていない

	調査数	行っている	行っていない
全体	71	12	59
	100	16.9	83.1
小学校	17	2	15
	100	11.8	88.2
中学校	33	6	27
	100	18.2	81.8
高等学校	47	9	38
	100	19.1	80.9
中等教育学校	2	-	2
	100	-	100
特別支援学校	2	-	2
	100	-	100

【行っている団体名】

- ・日本赤十字社 2校
- ・カリタスジャパン
- ・避難校ネット
- ・地域消防団
- ・罹災者支援ネットワーク
- ・伊勢原市、伊勢原市社会福祉協議会
- ・神奈川区臨海部防災協議会
- ・地域の自治会との会合、年1回
- ・逗子市役所

問25 防災教育や訓練、またはこのアンケートについて、ご意見・ご感想等ございましたらお書きください。また、防災や安全教育等について独自の取り組みをしておられたら、ご紹介いただけると幸いです（別紙を添付していただいても構いません）。

<K学園小学校>

- ・当校は同敷地内に児童養護施設を併設しており、施設入所の児童のみを受け入れております。防災対策については施設と学校一体で行っており、担当者は施設職員が行っております。同敷地内に児童の寮があるため、登下校についての心配はありません。

<S学園小学校>

- ・学校防災計画・マニュアルや学校安全計画・マニュアルは今後見直しが必要です。
- ・情報伝達訓練について、どのような方法があるのか知りたい。地震についての講話に関して、語り部さんを招きたい。図上訓練について、詳しく教えて欲しい。
- ・不審者侵入に対する避難訓練について、以前は、さすまた使用で行いましたが、恐怖心があったので最近は行っていないが、必要と考える。

<T大学附属中学校>

- ・安全マニュアル作成の為の参考になる資料等がありましたら、ご紹介いただきたいです。

<H女子高校>

- ・自転車通学を許可してから（約2年）、交通事故が多発したため、警察の協力で、交通スタントを今年度グラウンドで実施した。

<T大学附属高等学校>

- ・安全マニュアル作成のための参考になる資料等がありましたら、ご紹介いただきたいです。

<S学園高等部>

- ・敷地の隣が消防署ということもあり、訓練などなにかとご相談させていただいたり、ご指導を受けています。まだ学校が小規模で防災意識も薄いので、今後もう少し具体的に取り組んでいければと思います。

<A大学附属高等学校>

- ・教職員の実行力を上げるための、教職員の相互理解がしやすく有効的なマニュアルを作成するためにはという観点からの研修をお願いしたい。

<O学園高等学校>

- ・1月より生徒募集に全力を注ぐ私学において、この時期のアンケートは厳しいものがあります。特に校内事情により、本校は今年度は様々な雑務が私に集中し、気になりながらもじっくりと取り組めませんで、大変ご迷惑をおかけしました。しかしこのアンケートによって、まだまだ不足している学校の危機管理に気付くことができ、感謝申し上げます。

<Y学園中等教育学校>

- ・私学のネットワークによる登下校中生徒の避難受け入れの相互提供について、生徒に周知する方向で検討中。

<K養護学校>

- ・保護者の学習会として映画上映を実施。内容：逃げ遅れる人々「東日本大震災と障害」。又、当事者を招き、直接お話を伺った。本校は知的ハンディキャップのある児童・生徒の通う学校ということもあり、参考になった（2014年度の活動より）。

<S女子中学校・高等学校>

- ・アンケートの集計結果などを参考にしたいので、情報をご提供頂ければ幸いです。

<S学園中学・高等学校>

- ・地震等での防災活動は地域との協力が不可欠です。これまでは近隣に在校生や卒業生等の学校関係者が多く、不安を感じる事が少なかったのですが、地域住民の高齢化が進み、通学生徒が広域から通うという点で地域との協力関係を意識して作っていく必要を感じています。「学校」は防災センターとしての役割が果たせるとよいと思います。行政からの援助等がほしいところです。

<Y学園>

- ・グラッパという防災頭巾を入学時に購入してもらい、6年間使用しています。

<H学園中学高等学校>

- ・学校防災計画・学校安全計画は年数が経過しているので分らないが、常に町や消防と連携をとり、見直しを行っている。

<S女学院中学校・高等学校>

- ・在校中の生徒の安全については充分に対応できると思う。しかし私学の場合は公立の学区と違い、様々な地域、かつ時間を要して通学して来ている。したがって登下校中の災害発生時（最近では人身事故による車内での留め置きも）における対応のあり方が1人1人の生徒の判断にゆだねられていること。学校として、生徒が帰宅するまでの安全確保はいつも心配していることです。
- ・防災・安全というくくりでは対応ができにくい時代になってきています。特に「安全」ではSNSの時代、防災がらみの「安全」と生徒指導がらみの「安全」確保、そして昨今急増している交通関係（特に人身事故による電車内での留め置き）による「安全」。いずれにしても生徒1人1人の適切な判断能力が問われる時代です。

問26 他の学校等で行っているすぐれた防災活動があれば、教えてください。

<H学園小学校>

- ・神奈川県和学校情報
<http://npo-rois.org/hinankodb.html> 東京都及び関東の学校情報
神奈川中高協会ホームページ
<http://www.phsk.or.jp> 避難校ネットワーク

<S学園小学校>

- ・具体的な交流はありません。2013年10月に～防災教育・防災管理を中心とした学校安全に関する指導者養成～研修に参加させていただきました。

<N大学附属高等学校>

- ・避難訓練年2回実施（内1回は講堂から）、保健関係教員研修会 年1回実施

<S養護学校>

- ・教えてください。

問27 当研究プロジェクトで行った調査結果や、防災アドバイザーの情報等を必要とされる方は、ご希望を書いてください。後日、メールにて報告書等をお送り致します。

1. 報告書等の送信を希望（宛先メールアドレス： _____）
2. 報告書等は不要

－質問は以上です。ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒でお送りください。－